

修正箇所一覧

ご意見				対応		
番号	章	ページ	内容	該当区	原文	修正案
①	2章	19	「誰もが気軽に歩いて暮らせる」との記載があるが、歩けない人はどうするのか？	—	(1)熊本市が目指す多核連携都市づくり 誰もが気軽に歩いて暮らせる都市環境を形成するためには、居住の誘導と都市機能の維持・確保を支える利便性の高い公共交通機能の確保が大前提となることから、公共交通の機能強化や利便性向上など、公共交通ネットワークの充実にも積極的に取り組めます。	(1)熊本市が目指す多核連携都市づくり 誰もが 移動しやすく暮らしやすい 都市環境を形成するためには、居住の誘導と都市機能の維持・確保を支える利便性の高い公共交通機能の確保が大前提となることから、公共交通の機能強化や利便性向上など、公共交通ネットワークの充実にも積極的に取り組めます。
②	3章	41	「各区の特性と現況」のうち、「人口動向」及び「高齢化率」において、文章と図表の数値内容が整合していない。	中央区	(1)中央区の特性と現況 2)人口 ・小学校区別にみると、中心市街地の城東、慶徳をはじめ、五福、向山、本荘、出水の校区では増加が顕著です。一方、壺川、黒髪、出水南など区の北部・南部では減少しています。 ・高齢化率は、城東、で高くなっているものの、帯山西、託麻原、大江、白川、白山、慶徳、向山、一新、五福、黒髪では20%未満となっています。	(1)中央区の特性と現況 2)人口 ・小学校区別にみると、中心市街地の城東、慶徳、 五福をはじめ、大江、壺川、本荘、白川校区で人口が5%以上増加しています。 一方、 出水南、帯山、託麻原、黒髪、一新 では減少しています。 ・高齢化率は、城東、 碩台、砂取、出水南校区で25%以上と高くなっているものの、慶徳、白川、大江、託麻原、帯山西校区 では20%未満となっています。
	3章	63		東区	(1)東区の特性と現況 2)人口 ・小学校区別にみると、託麻南、桜木東、画図では人口が増加し、健軍東では減少しています。 ・高齢化率は、若葉や泉ヶ丘で25%以上と高齢化が進んでいる状況です。一方、託麻南や長嶺、月出、健軍東では高齢化率が15%未満と低くなっています。	(1)東区の特性と現況 2)人口 ・小学校区別にみると、託麻 東南、長嶺、桜木東、画図校区 では人口が 5%以上増加しています。 一方、 健軍東、泉ヶ丘校区 では人口が 5%以上も減少しています。 ・高齢化率は、若葉や泉ヶ丘 校区 で25%以上と高齢化が進んでいる状況です。一方、 託麻北校区 では高齢化率が15%未満と低くなっています。
	3章	83		西区	(1)西区の特性と現況 2)人口 ・小学校区別にみると、市街地となっている城山、白坪校区が微増していますが、それ以外の校区は減少傾向にあり、特に芳野、河内校区などの人口減少が顕著です。 ・高齢化率をみると、芳野、河内、松尾西地区においては35%を超えており、松尾北地区や高橋校区においても30%以上と高く、高齢化が進行しています。	(1)西区の特性と現況 2)人口 ・小学校区別にみると、 春日校区 では人口増加が顕著です。一方、それ以外の校区は減少傾向にあり、特に芳野、河内、 花園、中島校区 では人口が 5%以上も減少しています。 ・高齢化率は、芳野、河内 校区 で 35%以上と高く、それ以外の校区においても、 高齢化が進行しています。
	3章	106		南区	(1)南区の特性と現況 2)人口 ・小学校区別にみると田迎などの区の北部や旧城南町の隈庄で人口増加が見られます。中緑、奥古閑、川口などの校区では人口が減少しています。 ・高齢化率は、飽田南、中緑、奥古閑、川口などで30%以上と高く、飽田西や銭塘、富合、豊田でも25%以上となっています。一方、田迎や日吉東においては15%未満と低くなっています。	(1)南区の特性と現況 2)人口 ・小学校区別にみると 日吉、日吉東、飽田南、富合、隈庄校区 では人口が 5%以上増加しています。 一方、 奥古閑、川口、銭塘、力合、豊田校区 では人口が 5%以上も減少 しています。 ・高齢化率は、中緑、奥古閑、川口 校区 で 35%以上と高齢化が進んでいる状況です。 一方、 田迎西や日吉東 においては15%未満と低くなっています。
	3章	127		北区	(1)北区の特性と現況 2)人口 ・小学校区別にみると、龍田・弓削校区などの市街地部では人口増加がみられ、市街化調整区域の田原校区などでは人口が減少しています。 ・高齢化率は、田底や山本、田原校区など、区の北部で高く、その他、清水や高平台でも25%以上となっています。一方、城北や龍田、弓削、川上校区では20%未満となっています。	(1)北区の特性と現況 2)人口 ・小学校区別にみると、 植木、北部東、龍田西校区 で人口が 5%以上増加しています。 一方、 山本、楠、龍田 などの校区では人口が 5%以上も減少 しています。 ・高齢化率は、田底、山本、田原校区で 35%以上と高く、それ以外の校区においても 高齢化が進行しています。
③	3章	52	「老朽家屋の更新や古民家の活用」と記載されているが、 ・「老朽家屋の更新」とは具体的に何か分かりづらい。 ・「古民家」の定義が分からない。	中央区	(1)中央区における都市づくり 1)土地利用 【まちなかへの居住の誘導】 ・中心市街地内では、まちなかへの居住を誘導するため、中高層住宅の供給だけでなく、老朽家屋の更新や古民家の活用などを図ります。	(1)中央区における都市づくり 1)土地利用 【まちなかへの居住の誘導】 ・中心市街地内では、中高層住宅の供給 促進 だけでなく、 空き家の流通促進などにより、居住の誘導を 図ります。

修正箇所一覧

ご意見					対応	
番号	章	ページ	内容	該当区	原文	修正案
④	3章	57	「緊急車両が通れる空間を確保に努める」と記載されているが、確保のための具体策を記載すべき。	中央区	7)都市防災 ① 災害に強い都市基盤の形成 【都市施設の防災・減災対策】 ・家屋が密集し、道路が狭隘な市街地では、緊急車両が通れる空間を確保に努めるとともに、公共空地等を設け延焼遮断空間の形成を図ります。	7)都市防災 ① 災害に強い都市基盤の形成 【都市施設の防災・減災対策】 ・家屋が密集し、道路が狭隘な市街地では、緊急車両が通れる空間を確保 するため に、 建築物の耐震対策や危険なブロック塀撤去後の生垣化を促進するとともに 、公共空地等を設け延焼遮断空間の形成を図ります。
⑤	3章	60 81 103 124 144	「応急仮設住宅の建設にあたっては、市民のニーズに配慮した施設整備に努めます」と記載してあるが、市民ニーズより被災者の状況に配慮すべき。	各区共通	7)都市防災 ③市民・地域・行政の災害対応力の強化 【行政の災害対応力の強化】 ・応急仮設住宅建設予定場所の選定にあたっては、公園等の公有地を第一に予定地とし、周辺の医療機関、学校、商店及び交通機関などの場所を総合的に配慮し予定地の確保を行います。また、応急仮設住宅の建設にあたっては、市民のニーズに配慮した施設整備に努めます。	7)都市防災 ③市民・地域・行政の災害対応力の強化 【行政の災害対応力の強化】 ・応急仮設住宅建設予定場所の選定にあたっては、公園等の公有地を第一に予定地とし、周辺の医療機関、学校、商店及び交通機関などの場所を総合的に配慮し予定地の確保を行います。また、応急仮設住宅の建設にあたっては、 子育て世帯や高齢者、障がい者等の被災者のニーズに 配慮した施設整備に努めます。
⑥	3章	60 81 103 124 144	熊本地震時において数多く活用された「借上型仮設住宅」について、記載すべき。	各区共通		7)都市防災 ③市民・地域・行政の災害対応力の強化 【行政の災害対応力の強化】 以下を新たに記載 ・ 災害発生直後から、民間賃貸住宅の借上げによる借上型仮設住宅の提供が円滑に できるよう、 平時から不動産関係団体等との連携を図ります。
⑦	3章	59 80 102 124 144	「市民協働による都市づくりの推進」の項目で、行政と地域間の連携及び、地域内での連携については記載があったが、別地域間の連携(災害時における各地域の行動シミュレーション等)も行政側が間を取り持つ形でやれるのではないか	各区共通	7)都市防災 ③市民・地域・行政の災害対応力の強化 【行政の災害対応力の強化】 ・大規模災害発生時においては、発生直後の数日間は避難所開設・運営における行政の支援に限界があることから、小学校校区ごとに「校区防災連絡会」及び「避難所運営委員会」を設立するとともに、防災訓練を支援するなど地域が自主的に災害に対応できる体制づくりを推進します。	7)都市防災 ③市民・地域・行政の災害対応力の強化 【行政の災害対応力の強化】 ・大規模災害発生時においては、発生直後の数日間は避難所開設・運営における行政の支援に限界があることから、小学校校区ごとに「校区防災連絡会」及び「避難所運営委員会」を設立し、 防災訓練を支援するなど地域が自主的に災害に対応できる体制づくりを推進するとともに、各地域の取組み事例を紹介するなど、地域間の連携も図ります。